FUYO information Vol.10

第41期中間のご報告

2009年4月1日 ▶ 2009年9月30日

芙蓉総合リース株式会社

証券コード●8424

Changes into Chances

変化を、チャンスに。

変化する経済環境、社会環境にあって、ビジネスもまた、絶え間ない変化を求められています。
芙蓉総合リースグループはこの変化を好機として、お客様の経営・財務戦略を迅速に、柔軟にサポートしています。
リースを中心にレンタルや割賦販売、ファイナンスなど多岐にわたるフィールドが、
最適なソリューションを創造します。
これからも、創造と革新の精神でフィールドを拡げ、
お客様にベスト・アンサーを提供してまいります。

リース
割賦販売
ファイナンス
その他サービス
投資/生命保険
レンタル
販売促進リース
不動産リース

芙蓉総合リースグループ
Fuyo General Lease Group

芙蓉総合リース（株）

国内連結子会社（13社）

芙蓉オートリース（株）
日本抵当証券（株）
（株）エフ・ジー・エル・サービス
（株）芙蓉リース販売
（株）アクア・アート
（株）エフ・ネット
（株）ワイ・エフ・リーシング
シャープファイナンス（株）
エフジーアルファリーシング（有）
エフジージャスティスリーシング（有）
エフシーイールドリーシング（有）
エフジーガンマリーシング（有）
エフアイフラワーリーシング（有）

海外連結子会社（12社）

Fuyo General Lease（USA）Inc.
Fuyo General Lease（Canada）Inc.
Fuyo General Lease（HK）Ltd.
FGL Aircraft Ireland Limited
FGL Aircraft Ireland No.1 Ltd.
FGL Aircraft Ireland No.2 Ltd.
FGL Aircraft Ireland No.3 Ltd.
FGL Aircraft Ireland No.4 Ltd.
FGL Aircraft Ireland No.5 Ltd.
FGL Aircraft Ireland No.6 Ltd.
FGL Aircraft Ireland No.7 Ltd.
A320 Aircraft Leasing Ⅷ Corp.

持分法適用会社（5社）

横河レンタ・リース（株）
（株）東神ジェネラルクリエイト
（株）日本信用リース
エフオーオーシャンリーシング（有）匿名組合
FMC AVIATION LIMITED

（注）2009年9月末現在のグループ会社です。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

去る11月9日に前代表取締役社長 町田 充が逝去いたしました。生前のご厚誼に深く感謝申し上げますとともに、謹んでお知らせ申し上げます。

11月17日に開催された取締役会において、私こと、佐藤 隆が代表取締役社長に選任され、同日就任いたしました。

ここに、芙蓉総合リース株式会社第41期第2四半期決算の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高1,855億8百万円（前年同期比0.3%増加）、営業利益85億3千5百万円（前年同期比22.3%減少）、経常利益97億2千8百万円（前年同期比18.8%減少）となりました。また、四半期純利益は、前年同期においてリース会計基準の適用に伴う影響額20億7千6百万円を特別利益に計上した影響により、前年同期比41.4%減少の41億4百万円となりました。

なお、当期の中間配当金につきましては、1株当たり27円とさせていただきました。

当社グループでは、引き続き「2008年度～2010年度中期経営計画」における諸施策を着実に実行し、環境変化に打ち勝つ企業基盤の構築に全力で取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
佐藤　隆

CONTENTS

当第2四半期連結累計期間の経営成績

■当第2四半期連結累計期間の概況

当第２四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出や生産など一部に持ち直しの兆しが見られたものの、民間設備投資の大幅な減少に加え、雇用情勢が一段と悪化する中で個人消費も低迷するなど、引き続き厳しい状況が続きました。

リース業界におきましても、社団法人リース事業協会統計によるリース取扱高が前年同期を下回る水準で推移するなど、経営環境は厳しい状況が続きました。

このような状況の中、当社グループでは「営業基盤の強化」、「ローコストオペレーションの徹底」、「リスク管理のレベルアップ」、「経営管理基盤の充実・強化」に係る諸施策に取り組み、環境変化に打ち勝つ企業基盤の構築に注力いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の契約実行高は前年同期比7.7%増加の2,947億4千4百万円となり、当第2四半期末の営業資産残高（割賦未実現利益控除後）は前期末比160億6千7百万円（1.1%）増加して1兆4,395億4千1百万円となりました。

損益面では、売上高は前年同期比0.3%増加の1,855億８百万円、営業利益は前年同期比22.3%減少の85億３千５百万円、経常利益は前年同期比18.8%減少の97億２千８百万円となりました。また、前年同期においてリース会計基準の適用に伴う影響額20億７千６百万円を特別利益に計上した影響により、当第２四半期連結累計期間の四半期純利益は前年同期比41.4%減少の41億４百万円となりました。

■事業の種類別セグメントの業績

当第2四半期連結累計期間における事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。なお、各セグメントにおける売上高については「外部顧客に対する売上高」の金額、営業利益については「消去又は全社」控除前の金額を記載しております。

●賃貸事業

賃貸事業の契約実行高は2,440億2千2百万円と前年同期比33.6%増加し、営業資産残高は前期末比2.7%増加して1兆718億1千万円となりました。賃貸事業の売上高は前年同期比4.1%増加して1,607億4千1百万円となり、営業利益は前年同期比2.4%増加して111億8千1百万円となりました。

●割賦販売事業

割賦販売事業の契約実行高は152億2千2百万円と前年同期比23.8%減少し、営業資産残高は前期末比9.1%減少して749億2千7百万円となりました。割賦販売事業の売上高は前年同期比18.3%減少して172億9百万円となり、営業利益は前年同期比56.3%減少して2億9千5百万円となりました。

●営業貸付事業

営業貸付事業の契約実行高は351億5百万円と前年同期比49.5%減少し、営業資産残高は前期末比1.7%減少して2,870億2千3百万円となりました。営業貸付事業の売上高は前年同期比23.1%減少して40億3千9百万円となり、営業利益は前年同期比3.3%減少して13億6千万円となりました。

●その他の事業

その他の事業の契約実行高は3億9千3百万円と前年同期比75.5%減少し、その他の事業の営業資産残高は前期末比5.1%増加して57億7千9百万円となりました。その他の事業の売上高は前年同期比15.3%減少して35億1千8百万円となり、営業利益は前年同期比12.4%増加して19億6千9百万円となりました。

■通期の見通し

２０１０年3月期の連結業績予想は、売上高3,800億円、営業利益150億円、経常利益160億円、当期純利益８0億円を見込んでおります。また、年間配当予想につきましては、1株当たり54円（うち中間配当金27円）を予定しております。

主な経営指標（連結）

■ 売上高（億円）
2008年3月期中間期 / 2009年3月期第2四半期 / 2010年3月期第2四半期 / 2008年3月期 / 2009年3月期 / 2010年3月期予想

■ 経常利益（億円）
2008年3月期中間期 / 2009年3月期第2四半期 / 2010年3月期第2四半期 / 2008年3月期 / 2009年3月期 / 2010年3月期予想

■ 四半期(当期)純利益（億円） ● 1株当たり四半期(当期)純利益（円）
2008年3月期中間期 / 2009年3月期第2四半期 / 2010年3月期第2四半期 / 2008年3月期 / 2009年3月期 / 2010年3月期予想

■ 総資産（億円）
2006年3月期 / 2007年3月期 / 2008年3月期 / 2009年3月期 / 2010年3月期第2四半期

■ 純資産（億円） ● 1株当たり純資産（円）
2006年3月期 / 2007年3月期 / 2008年3月期 / 2009年3月期 / 2010年3月期第2四半期

■ 1株当たり年間配当金（円）
2006年3月期 / 2007年3月期 / 2008年3月期 / 2009年3月期 / 2010年3月期予想

四半期連結財務諸表（要約）

営業資産残高の状況

	2007年3月末	2008年3月末	2009年3月末	2009年9月末
リース	6,612	6,832	10,436	10,718
割賦債権	1,065	1,071	824	749
営業貸付・その他	1,501	3,761	2,975	2,928
営業資産残高合計	9,178	11,663	14,235	14,395

（注1）割賦債権は割賦未実現利益を控除した金額
（注2）上記金額は億円単位、単位未満四捨五入

当第2四半期末の営業資産残高は、賃貸事業が前期末比2.7%増加し、全体では前期末比161億円（1.1%）増加し、1兆4,395億円となりました。

四半期連結貸借対照表

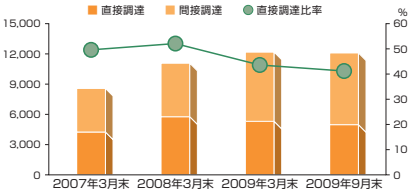
（単位：百万円）

科目	前連結会計年度末 2009年3月31日現在	当第2四半期連結会計期間末 2009年9月30日現在
資産の部		
流動資産	**1,514,250**	**1,478,796**
現金及び預金	97,418	71,788
割賦債権	84,757	77,166
リース債権及びリース投資資産	969,859	974,089
営業貸付金	269,049	260,178
その他の営業貸付債権	21,383	23,276
営業投資有価証券	5,498	5,779
その他の営業資産	21,586	12,605
賃貸料等未収入金	25,934	36,620
有価証券	40	−
繰延税金資産	3,795	3,673
その他	26,850	24,412
貸倒引当金	△ 11,924	△ 10,793
固定資産	**179,542**	**223,157**
有形固定資産	**70,424**	**96,250**
賃貸資産	69,299	95,121
賃貸資産	69,200	93,841
賃貸資産前渡金	99	1,280
社用資産	1,124	1,129
無形固定資産	**14,525**	**13,694**
賃貸資産	4,496	3,880
賃貸資産	4,496	3,880
その他の無形固定資産	10,028	9,814
のれん	8,365	8,159
その他	1,663	1,655
投資その他の資産	**94,592**	**113,212**
投資有価証券	32,707	42,324
破産更生債権等	20,747	23,147
前払年金費用	762	765
繰延税金資産	1,644	916
その他	39,616	46,909
貸倒引当金	△ 885	△ 850
資産合計	**1,693,792**	**1,701,954**

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

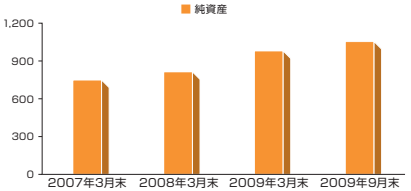
（単位：百万円）

科目	前連結会計年度末 2009年3月31日現在	当第2四半期連結会計期間末 2009年9月30日現在
負債の部		
流動負債	**1,285,751**	**1,243,616**
支払手形及び買掛金	47,690	63,990
短期借入金	362,291	362,087
1年内返済予定の長期借入金	111,372	124,478
コマーシャル・ペーパー	309,100	280,800
債権流動化に伴う支払債務	82,600	31,500
1年内支払予定の債権流動化に伴う長期支払債務	30,634	49,012
リース債務	269,146	251,808
売渡抵当証券	49,275	50,380
割賦未実現利益	2,325	2,238
その他	21,314	27,318
固定負債	**310,028**	**352,952**
長期借入金	212,310	224,587
債権流動化に伴う長期支払債務	59,362	86,176
繰延税金負債	552	1,231
その他	37,802	40,957
負債合計	**1,595,780**	**1,596,569**
純資産の部		
株主資本	**87,152**	**90,442**
資本金	10,532	10,532
その他	76,620	79,910
評価・換算差額等	**△ 917**	**2,602**
新株予約権	**93**	**93**
少数株主持分	**11,684**	**12,246**
純資産合計	**98,012**	**105,385**
負債純資産合計	**1,693,792**	**1,701,954**

調達の状況

	2007年3月末	2008年3月末	2009年3月末	2009年9月末
直接調達	4,250	5,767	5,310	4,979
間接調達	4,320	5,302	6,860	7,112
有利子負債残高合計	8,569	11,069	12,169	12,090
直接調達比率	49.6%	52.1%	43.6%	41.2%

（注1）上記金額は億円単位、単位未満四捨五入
（注2）2009年3月末および9月末の残高はリース債務を除いております。

営業資産残高は増加しましたが、手元流動性を圧縮したことを主因に、リース債務を除く当第2四半期末の調達残高は前期末比79億円（0.7%）減少し1兆2,090億円となりました。また、調達の安定性を重視しつつ調達構造の最適化を追求した結果、直接調達比率は41.2%となりました。

純資産の状況

	2007年3月末	2008年3月末	2009年3月末	2009年9月末
純資産	749	814	980	1,054
自己資本比率	7.4%	6.4%	5.1%	5.5%

（注）上記金額は億円単位、単位未満四捨五入

当第2四半期末の純資産は、利益剰余金が前期末比33億円増加し、また評価・換算差額等が35億円増加したため、前期末比74億円（7.5%）増加の1,054億円となりました。

四半期連結財務諸表（要約）

四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	前第2四半期連結累計期間 自 2008年 4月 1日 至 2008年 9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 2009年 4月 1日 至 2009年 9月30日
売上高	184,888	185,508
売上原価	160,796	161,794
売上総利益	24,092	23,714
販売費及び一般管理費	13,108	15,178
営業利益	10,983	8,535
営業外収益	1,424	1,616
受取利息及び配当金	444	395
持分法による投資利益	317	304
その他	662	916
営業外費用	428	423
支払利息	311	350
その他	116	72
経常利益	11,979	9,728
特別利益	2,650	128
特別損失	1,328	98
税金等調整前四半期純利益	13,302	9,758
法人税、住民税及び事業税	5,209	5,353
法人税等調整額	453	△372
少数株主利益	633	673
四半期純利益	7,006	4,104

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

売上高の状況

	2007年4月~9月	2008年4月~9月	2009年4月~9月
リース	1,542	1,544	1,607
割賦	335	211	172
営業貸付・その他	84	94	76
売上高合計	1,961	1,849	1,855

（注）上記金額は億円単位、単位未満四捨五入

当第２四半期連結累計期間の売上高は、リースの契約実行高が前年同期比３３．６％増加したことなどにより全事業合計の契約実行高が前年同期比７．７％増加し、営業資産残高も前期末比１．１％増加したことなどから、前年同期比６億円（０．３％）増加して１，８５５億円となりました。

経常利益の状況

	2007年4月~9月	2008年4月~9月	2009年4月~9月
経常利益	106	120	97

（注）上記金額は億円単位、単位未満四捨五入

当第２四半期連結累計期間の経常利益は、前年同期比２３億円（１８．８％）減少して９７億円となりました。

TOPICS

AEDの設置と講習受講による地域社会への貢献

芙蓉総合リース（FGL）は地域社会との深いかかわりを認識し、企業活動を行っています。身近で起こるかもしれない万が一への備えとして本社と大阪支店にAEDを設置し、必要な時にだれもが利用できるようにしています。今後もAEDを設置する支店を増やすとともに、救命講習の受講を通じて多くの社員がAEDを使って救命に当たれるように備えていきます。なお、社員の受講者数はおよそ100名になりました。

本社1階ロビーのAED

■AEDの普及に向けたリースでの取り組み

社会全体へのAED普及を促進するため、AEDのリースを積極的に取り扱っています。リースという金融サービスは目に見えませんが、身近な生活の安心・安全を支える機器の普及に、リースは役立っています。

＊AED（自動対外式除細動器）は心室細動による心臓の突然停止の際に電気ショックを与え、心臓の働きを戻すことを試みる医療機器です。

「CSR報告書2009」を発行しました。

FGLグループのCSR（企業の社会的責任）活動を皆様にご報告する「CSR報告書2009」を発行しました。ホームページ（http://www.fgl.co.jp/）でご覧いただけます。

「英文アニュアルレポート」を発行しました。

海外の株主・投資家の皆様向けの2009年3月期の「英文アニュアルレポート」を発行しました。ホームページ（http://www.fgl.co.jp/）でご覧いただけます。

◆格付け

当社が2009年11月10日現在取得している格付けは次のとおりです。

●格付機関：株式会社日本格付研究所（JCR）

【長期優先債務】
格付け：**A**（シングルAフラット）　格付けの見通し：安定的
【コマーシャルペーパー（短期）】
格付け：**J−1**
発行限度額：3,500億円　バックアップライン：なし

●格付機関：株式会社格付投資情報センター（R&I）

【発行体格付け（長期）】
格付け：**A−**（シングルAマイナス）　格付けの方向性：安定的
【コマーシャルペーパー（短期）】
格付け：**a−1**
発行限度額：3,500億円

株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、株主優待制度を次のとおり実施しております。

対象株主様　毎年3月31日現在の株主名簿に記録された1単元（100株）以上保有していただいている株主様

贈 呈 時 期　毎年6月の当社定時株主総会後の発送を予定しております。

優 待 内 容　一律3,000円相当の「郵便局のチョイスギフトカタログ」を贈呈いたします。

「郵便局のチョイスギフトカタログ」は、厳選した季節の商品、旬の食材42品目の中から、お好みの品物1点をお選びいただけるグルメギフトカタログです。

なお、品物とのお引換期間内にお引換えいただけない場合には、当社があらかじめ選定した品物をお届けいたします。

※なお、お引換えいただく商品は、お届けするカタログからお選びいただきます。上記の掲載写真は商品の例で、実際に選択できる商品と異なる場合がございますのでご了承ください。

会社の概況（2009年9月30日現在）

- **商　　号**　芙蓉総合リース株式会社 Fuyo General Lease Co., Ltd.
- **本社所在地**　東京都千代田区三崎町三丁目3番23号（ニチレイビル）
- **設　　立**　1969年5月1日
- **資 本 金**　10,532百万円
- **従 業 員 数**　連結1,387名、単体597名
- **役　　員**

役職	氏名
代表取締役会長	小倉　利之
*1*2代表取締役社長	町田　充
*1代表取締役副社長	佐藤　隆
*1専務取締役	春日川和夫
*1専務取締役	小原　久典
*1常務取締役	米田　俊三
*1常務取締役	古屋　直樹
*1常務取締役	細岡　祐二
取締役（社外取締役）	南　直哉
常勤監査役	吉川　修
常勤監査役	鵜野　隆一
監査役（社外監査役）	沼野　輝彦
監査役（社外監査役）	石坂　文人
監査役（社外監査役）	石川　博一
常務執行役員	福田　晃
常務執行役員	中嶋啓一郎
常務執行役員	吉積　和織
執行役員	石垣　雅一
執行役員	藤本　清之
執行役員	小田　彰男
執行役員	五月女隆男
執行役員	冨川　満
執行役員	藤田　義治
執行役員	皆川　潔
執行役員	棚橋　史博
執行役員	山田　秀貴
執行役員	篠原　清郎
執行役員	今井　範夫
執行役員	荒川　信一

*1の取締役は執行役員を兼務しております。
*2代表取締役社長 町田充は2009年11月9日に逝去いたしました。11月17日に佐藤隆が代表取締役社長に就任いたしました。

株式の状況（2009年9月30日現在）

- **発行可能株式総数**　100,000,000株
- **発行済株式総数**　30,287,810株
- **株　主　数**　4,244名
- **大　株　主**（上位10名）

株主名	所有株式数（千株）	出資比率（%）
ヒューリック株式会社	3,108	10.26
丸紅株式会社	2,869	9.47
明治安田生命保険相互会社	2,261	7.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,813	5.99
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,363	4.50
株式会社損害保険ジャパン	1,152	3.80
株式会社山武	1,000	3.30
株式会社みずほコーポレート銀行	907	3.00
芙蓉総合開発株式会社	600	1.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9）	598	1.98

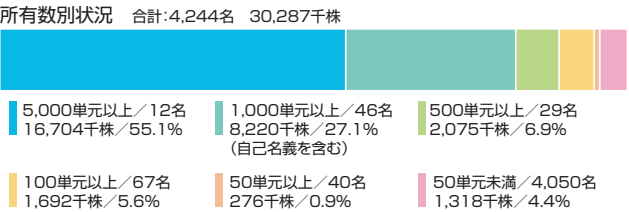
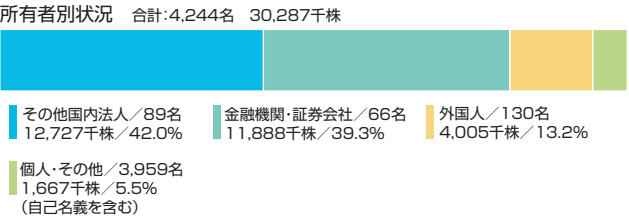
（注）千株未満は切り捨てて表示しております。

- **株主構成**

所有者別状況　合計:4,244名　30,287千株

- その他国内法人／89名　12,727千株／42.0%
- 金融機関・証券会社／66名　11,888千株／39.3%
- 外国人／130名　4,005千株／13.2%
- 個人・その他／3,959名　1,667千株／5.5%（自己名義を含む）

所有数別状況　合計:4,244名　30,287千株

- 5,000単元以上／12名　16,704千株／55.1%
- 1,000単元以上／46名　8,220千株／27.1%（自己名義を含む）
- 500単元以上／29名　2,075千株／6.9%
- 100単元以上／67名　1,692千株／5.6%
- 50単元以上／40名　276千株／0.9%
- 50単元未満／4,050名　1,318千株／4.4%

（注）1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
2. 比率は小数点第1位未満を四捨五入して表示しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当基準日	毎年3月31日 （中間配当を実施するときは9月30日）
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部

※住所変更等、当社株式に関する手続きについては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。
※未払い配当金の支払い、支払明細等の発行に関する手続きまたは特別口座に記録された株式に関する手続きにつきましては、みずほ信託銀行にお問い合わせください。

お問い合わせ先・郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社　証券代行部 TEL：0120-288-324（フリーダイヤル）
公告方法	電子公告 （電子公告掲載URL） http://www.fgl.co.jp/IR/koukoku/koukoku.asp ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

●上場株式配当等の支払いに関する通知書について
租税特別措置法の平成20年改正（平成20年4月30日法律第23号）により、2009年中にお支払いする配当金について株主様あてに「支払配当金額」や「源泉徴収税額」等を記載した「支払通知書」を通知することとなりました。配当金を配当金領収証にて受取られる株主様は来年の確定申告手続きに合わせて2009年末～2010年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。
（なお、口座振込を指定されている株主様は配当金をお受取の際に送付されている「配当金計算書」が「支払通知書」となりますので、引き続き確定申告の際の添付資料としてご使用ください。）

ホームページとメール配信サービス、携帯IRサイトのご案内

芙蓉総合リースでは、パソコン用ホームページを開設するとともに、投資家の皆様への情報提供サービス拡充の一環として「IRメール配信サービス」も行っています。また、携帯電話でご覧いただけるIRサイトも開設していますので、ぜひご利用ください。

Internet IR 優秀企業賞 2009 Daiwa Investor Relations ®

＜ホームページ・メール配信サービス＞
インターネット上にホームページを開設し、最新のニュースをはじめ企業情報やIR情報など、様々な情報を掲載しています。ぜひご覧ください。
メール配信サービスは、配信登録していただくことにより、ニュースリリースやIR情報などを当社ホームページで更新した際に、電子メールでお知らせするサービスです。
配信をご希望される方は、当社ホームページの登録アイコンからの登録手続きをお願いいたします。
ホームページアドレス：
http://www.fgl.co.jp/

＜携帯IRサイト＞
●アクセス方法1
携帯電話でURLを直接入力：
http://m-ir.jp/c/8424
●アクセス方法2
QRコードでアクセス
（QRコード対応のカメラ付き携帯電話では、上のQRコードで簡単にアクセスできます。）
※読み取り方法等、携帯電話の詳しい操作方法につきましては、ご利用中の携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

芙蓉総合リース株式会社
お問い合わせ先：
〒101-8380 東京都千代田区三崎町三丁目3番23号（ニチレイビル）
TEL：03(5275)8800(代)　FAX：03(5275)8870